

# 非住宅木造建築の普及拡大へ

## ポラテック中大規模の会発足

ポラテック

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）は、非住宅木造建築物の普及拡大を推進するために「ポラテック中大規模の会」を発足させ、27日に本社ウッドスクエア会議室で設計士など約100人を集めてセミナーを開いた。北大路康信専務は「非住宅建築物の市場はS造・RC造が中心で、木造の設計をしたことがない設計者も多い。当社は一般流通材と住宅用プレカットを組み合わせることで他の工法に比べて価格競争力があり、人にも環境にも優しい木造建築を拡大していきたい」と話し、今年を木造非住宅元年と位置付けて市場の拡大に取り組む方針を示した。

5月度の同社プレカ 羽柄材加工実績が8万と、構造材加工に占める比率は6・7%だが当面の目標だ。ツトは、構造材加工実 4832坪だった。この比率は6・7%だが、大幅に実績を増や 績が8万2840坪のうち非住宅は564 が、大幅に実績を増や 中大規模の会は設計 (前年比0・1%増)、0坪(同66・3%増) している。この割合を 土などを対象にした情

今年是非住宅元年に  
なると話す北大路専務



「ポルトラス」は「クレーンシステム」などは、特殊な金物などを極力使用せずに、大スパンを飛ばせる工法などを提供できる。事例紹介では平

行弦トラスで設計されていたことも

報提供の会で、登録は無料、メールなどで情報を配信していく。グループのポラス暮し科学研究所などで開発したオリジナルの構造部材なども提供する。独自商品である「バルトン・ゲイト」「スパーキングビーム」

園が納期対応のためにポルトラスに切り替えられた例や、協会のアティクトラスで設計されたものをバルテノンスカイを使い勾配天井を現

場で事務所ビルで、予算が合わなかったものを木造で提案している例なども紹介した。同社は横浜、仙台、新大阪、名古屋でも同様のセミナーを開いていく。